

本年 11 月 17 日（月）から 18 日（火）の 2 日間、3 会派（健政会、みね創政塾、創政会）合同で、林業施策を中心に西栗倉村（岡山県）、佐用町（兵庫県）の行政視察を実施しましたので、その状況や見解について下記のとおり報告いたします。

記

令和 7 年 12 月 8 日

美祢市議会

議長 荒 山 光 広 様

視 察 団

代表

秋枝 秀 稔

1 視察の目指すところ

針葉樹木材は昭和 55 年をピークに価格が低迷し、広葉樹材もエネルギー転換により利用されなくなり、次第に森林は放置されるようになった。多大な費用と労力をかけて育成した林野は荒廃し、更にはシカなどの害獣による食害により我々の生活に脅威をもたらす負に近い資産となった。しかしながら、治山治水が政策の要と言われるとおり森林施策をいか実施するか、がこれからの重要な課題と考えた。

美祢市は過去に多くの自然災害があり、一昨年は死者が出るような水害を経験したが、その原因が単に天候のなす豪雨と片付けられ、その根本にある治山治水の視点が欠落していることなどから、山林施策の先進地の施策を視察研究して本市の施策に資するため 2 町村の施策を見聞した。

2 視察に日程

別紙日程表のとおり

3 視察の質問事項の事前送付

視察を充実させるため、西栗倉村（別紙 1）及び佐用町（別紙 2）に研究したい事項を事前に送付した。

4 各自治体における施策

(1) 西栗倉村

①対応者 産業観光課 主事

視察が多く、職員も少ないことから主事のための対応と考えられる。

②概況

岡山県の北東端に位置し、貴重な自然が残る若杉天然林もある。平成の大合併には合併調印の間近に住民アンケートで合併協議の離脱を 2004 年に決め、地域再生コンサルティング（国庫補助）から村の理念を“心産業の創出”と決定し、以後飛躍が始まった。



“百年の森事業”が 2009 年に開始され、山の恵みである木材を活用した約 20 社の様々なベンチャー企業も創業し、100 人超の雇用も創出されている。起業家の村として知られるようになり、人口 1,318 人のうち 2 割が移住者、608 世帯、高齢化率は 38%と低い、職員 25 人、外 25 名が会計年度職員。行政面積 57.97 km²のうち 93% (53.9 km²) が森林で 84% (45.2 km²) が人工林となっており、多くが 50 年生以上の森林となっている。地籍調査は完了している。森林に関する民間研究所もある。

森林林木という、地域にあるものを掘り下げることで発展し、この小さな山里が“奇跡の村”として企業・行政から注目を集めている。次は農業を掘り下げるとのことで、今後どのような施策をされるかとても興味深いものがある。

様々な機関からの視察が多く、毎週一組のみ半日程度に受入を制限しているとのことで、我々会派もようやく受け入れていただいた。視察者も行政だけでなく銀行などの民間団体も多いとのことであった。

③施策

2004 年の合併協議離脱後、振興策を模索し、2009 年から 100 年の森の事業をスタートし、地域資源である木材利用を基盤として施策の展開を始める。

“50 年まで育った森林管理をここで諦めず、村ぐるみであと 50 年頑張ろう。そして美しい 100 年の森に囲まれた上質な田舎をつくる” という意志で村長を中心に出発したとのこと。

森林環境譲与税は、様々な事業を行っていることから全て森林施策に使用（これまで 1.5 億の譲与額）しており、本市のように事業がないから積立しているというようなことはない。

村には小水力発電所（280kw の出力）があり、1966 年発電開始。老朽化が進行したため大規模な改修工事（293kw の出力）を行い、平成 26 年から稼働している。再生可能エネルギー発電設備の認定（FIT）を受けている。売電収入でかなりな利益が出ているようであった。

事業効果は以下のとおり

- ア、 間伐の実施により、荒廃山林の減少から災害リスクが低減し、材の搬出により木材の産業ができ、村内に 100 人以上の雇用が創出され、生産総額も 11 億と 10 倍になった。
- イ、 2016 年には村内全域航空レーザー測量を行うと伴に「森林解析情報システム」の導入により、森林資源量や森林路網整備が進んだ。
- ウ、 交流人口の増加や、定住増により空き家がなくなった。



役場庁舎の天井構造（木造建築費 23 億（補助なし？） 村内生産木使用量 95%）

④美祢市の取り組み概観

本市は豪雨災害が多い。これは昔のような保水力を持った山林や農地が少なくなったと考えている。山林に下草がなく雨水は土砂と共に流れ出ることが多い。更に鳥獣被害も多い。森林施策はまだまだ緒に就いたとも思えないが、実施の必要を強く思う。現状を見渡したとき、改めて努力の無さが悔やまれる。

④その他

山間部のため宿泊場所が少なく、西栗倉村で建築し、指定管理者運営の“百年の森ホテル・栞”に宿泊した。他に見ないコテージ形式などの独自路線を打ち出しており、平日にかかわらず予約も早く埋まるという状況であった。三つ星レストランシェフの食事も運営に貢献しており、行政体は“村”であるが深い努力が随所に見られ、行政体の力量・知恵を感じた。

(2) 佐用町

①対応者

佐用町議会議長、農林振興課長、農林土木整備室主査、同室主事、議会事務局長

②概況

佐用町は面積 307.44 km²（美祢市の 65%）、高齢化率 43.2%、人口がおよそ 14,000 人、^{みまさかひのき}美作 桧 で知られる。人口比率は概ね 50%。森林面積 24,861 ha（林野率 80.9%）、古墳群や多くの城郭跡もあり、古くから街道（出雲街道、因幡街道）の宿場町として繁栄してきたところからなのか山林 1 筆平均面積が 1 反から 2 反歩が多いとのこと。議会は 14 名で定数を検討中とのこと。

③施策

本市と同じく、平成 21 年に大水害があり、荒廃山林からの立木流出が被害を拡大させたという認識があったようで、町長の山林施策への強い意志で現在のような施策を推進してきたと言われた。

地籍調査進捗率は美祢市ほぼ同じであるが、令和 2 年に航空レーザー測量（事

業費約 6,000 万円) を町内全域で実施し、これを基に CS 立体図 (微地形図・傾斜区分図)、森林資源解析 (単木データ・林相・蓄積分布図・立木密度分布図) 境界候補図を作成し、森林 ICT (GIS) 化したとのこと。境界候補図作成で住民から異論など無かったか、とお聞きしたところ、逆に教えてあげるようなこともあったとのことで、美祢市も大いに参考になると考えた。このレーザー測量ができる業者は日本に 3 社のみ。

佐用町の特記すべき施策である、民有林の町有林化の取り組みについては
ア、 町の年間予算 140 億円の約 1% を充てている。令和 6 年度は 1.3 億円。

イ、 森林譲与税は 6,500 万円/年交付される。

ウ、 所有者不明の森林や放置森林解消を目的とし、所有者による経営管理が困難な森林を、買取りと寄付の両面で町有林化している。買取り価格は 10 円/㎡とし、所在地は考慮しない。立木代金は町で査定。

- ・ 民家や野墓などに接した箇所は後日の管理紛争懸念のため買取りしない。
- ・ 後日の紛争防止のため念書を求めている。
- ・ 約 2 割超が寄付となっている。
- ・ 佐用町森づくり条例を制定し、併せて 75 ページにおよぶ“佐用町森林ビジョン”を検討制作して町有林化を推進している。

佐用町役場視察研修状況



JR 姫新線 佐用駅前のモニュメント



④美祢市で取り組んで欲しいこと

森林の多面的機能 (水源涵養、災害防止、環境保全) を発揮させるためには適切な整備保全を行って、健全な状態で維持管理することが極めて重要と考える。そのための基礎になるのが佐用町で進められている施策であろう。行政規模や環境条件も似ており、同様な施策をぜひ実施していただきたい。

5 視察の成果

視察はレンタカーによる強行軍であったが、概ね所期の視察目的を超えるものを得られた。これから美祢市に如何に導入を促すか、執行部のやる気が試される。

行程

11月17日(月)【1日目】

8:00 美祢市 出発

↓

昼食

↓

14:00 西栗倉村(岡山県)役場 着

↓

視察

16:00 西栗倉村(岡山県)役場 発

↓

16:05 “100年の森のホテル 栞” 着

移動は全行程がレンタカーです。乗り換え等の時間を含めると、時間的に大差ないので。車で片道約 400 km。新幹線は乗り換え手間等ある。

視察代

1 テーマ 11,000 円

資料代 1,100 円×6 人分

11月18日(火)【2日目】

8:20 “100年の森のホテル 栞” 発

↓

高速道路 25.66 km

8:50 佐用町(兵庫県)役場 着

↓

9:00 視察

↓

11:00 佐用町役場 発

↓

昼食

↓

18:00 美祢市 帰着

☆☆周辺文化財等の視察先☆☆
道の駅あわくらんど
国指定重要文化財 石谷家住宅
三日月藩乃井野陣屋館
宿場町 平福

会派研修視察 質問事項

・・・岡山県 西栗倉村・・・

- ① 西栗倉村が平成の大合併で2004年に合併協議会から離脱されたのは今日の振興を見込んでいたということですか。
- ② 貴村は奇跡の村、地域資源を生かしたビジネスモデル、とか言われているところです。全国の地方自治体で様々な地域振興がされていますが貴村のような成功事例はほぼ聞きません。この成功原因は何とお考えですか。経済を成り立たせることが地域振興の根幹と考えられてスタートを切られたのでしょうか。
- ③ 村全体の予算と「百年の森林構想」や移住にかかる予算額はどのようになっていますか。
- ④ 今後の人口変動はどのように予測されていますか。*変化はないが、少し減少が。*
- ⑤ 移住者受け入れ体制の経緯と問題点をご教示ください。*空家が早く受入れ難い。*
- ⑥ 松食い虫などの病虫害対策、野生鳥獣対策はどのようにされていますか。また、スギ花粉対策などありましたら教えてください。*鹿害が多い、花粉対策はなし*
- ⑦ 伐採後の森林の植栽等の処置の考え方について御教示ください。
- ⑧ 森林環境譲与税の交付額とその使用用途について御教示ください。
- ⑨ 現在の課題と考えられていることと今後の計画について御教示ください。
- ⑩ 西栗倉発電所は平成26年に再生可能エネルギー発電設備の認定を受けられました。経営内容について御教示ください。現地を拝見できますか。

・・・兵庫県 佐用町・・・

① 美祢市の標準財政規模は約 100 億円ですが、貴町はどのくらいですか。

普通会計 130 億、標準財政規模は 80 億円。

② 貴町の平成 21 年の大水害は荒廃山林の流出立木も被害拡大の要因と言

われていますが、民有林の町有林化するという動機もこのことが要因にあり

ますか。佐用町の人口林率はどのくらいですか。 町長の強いリーダーシップ。

③ 放置森林解消政策へのプロセスと住民アンケートをされておられればその内容を御教示ください。

④ 町有林化に係る町全体予算との比率及び担当部署の担当者数はどのようになっていますか。 1%

⑤ 山林の町有林化事業に対する買い取り価格設定の考え方について教えてください。 10 円/㎡

⑥ 入会林野の引き取りなどありますか。あればその状況なり教えてください。

⑦ 町有林化後の管理や伐採及び再造林はどのようにされていますか。

⑧ 森林環境譲与税の額とその使用内訳はどのようになっていますか。

65 万円/6 年度 あり 不足の状況

⑨ 佐用町の地籍調査進捗率 32%は美祢市と同じような率ですが、航空レーザー測量に取り組まれた動機はどのようなものですか。

⑩ 令和 2～3 年度で町内全域の航空レーザー測量を実施され、その後、境界候補図はどのような過程を経て決められたか。所有者等に異論とかありませんでしたか。

逆に教えることもあり

GIS 化できた

⑪ 森林 ICT 活用が進んでいるようですが、その効果についてお伺いします。

⑫ 森林行政の課題と今後の計画についてご教示ください。

・持続可能な森林施策

・収益の多い森林 → 早生樹(ユーカリ)が 10 年で収益セルロースでプラスアップ



佐用市 30744 ha
 林産物 81.0%

美作市 472.60 ha
 76.3%